

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-240142(P2003-240142A)

【公開日】平成15年8月27日(2003.8.27)

【出願番号】特願2002-38301(P2002-38301)

【国際特許分類第7版】

F 16 K 15/16

F 01 N 3/32

【F I】

F 16 K 15/16 C

F 16 K 15/16 D

F 01 N 3/32 E

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

テストによれば、リード24の捩れは、弁孔21の長手方向中央部で最も大きいが、リード24のリード取り付け部20aに対する取り付け誤差により、リード24が傾いて取り付けられることも考慮すると、弁孔21がリード24と長手方向を同じくする略長方形である場合は、弁孔21の突起27、27を、前述のように、弁孔21のリード24基端側の端縁から測って、弁孔21の長辺長さLの約75%の箇所に配置するときが、突起27、27の、リード24の捩じれに対する抑制効果が最も高いことを確認しており、したがって突起27、27の突出長さを極力小さくしつゝリード24の捩じれを効果的に抑え、リード24の弁孔21への入り込みを確実に防ぐことができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

この第2実施例は、前実施例における弁孔21の突起27、27に代えて、リード24の長辺側の両側縁に一対の突起37、37を形成したものであり、その他の構成は前実施例と同様であるから、図5及び図6中、前実施例との対応部分には同一の参照符号を付して、その説明を省略する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

